

市長に新年度予算案の提出

11月7日(金)日本共産党北野地区委員会の日本共産党北野地区支部委員田中道彦は、尾佐市長に対し「2015年度予算案にわたっての『専断案』を提出しました。12項目の専断項目は、次のとおりです。

1. 消費税の来年10日から増徴実施をためる4つ。国に意見をあげられたい。
2. 農業振興条例を制定されたい。米価の暴落に対し無担保・無利子の緊急融資を市の独自策として実施されたい。
3. 住宅および、店舗リフォーム助成制度を創設されたい。
4. 依然として高すぎる国民健康保険料については、1人1万円、来年度より引き下げられたい。
5. 旧同和対策として継続

6. 子どもの医療助成制度の対象を入院・通院とも中学校卒業まで引き上げられたい。
7. 介護保険において、専断案、2の方へのサービスは、新総合事業となっても市が責任を持って、現状と同等の内容とされたい。
8. 地域住民が反対している通称地域への安定型産業廃棄物最終処分場の建設に

こんなことは日本共産党です

児童数は過去最高となることともに、待機児童数が年々増えている実態が明らかになりました。

児童待機児童9945人
厚生労働省は、7日、学童保育の実施状況(2014年5月1日現在)を公表しました。共働き家庭などの児童の生活の場である学童保育の利用

学童保育は2万2084カ所(前年比602カ所増)。利用児童数は、前年比4万7247人増の93万6452人となり、初めて90万人を突破しました。待機児童数は同1256

人増の9945人で、2012年以来、毎年千人超の増加傾向にあります。今回の発表で待機児童数がゼロの横濱市、川崎市、名古屋市では、全児童対策の「放課後子ども教室」(文科省所管)と一体的に運営することで待機児童を吸収しているとのこと。

については、許可しないことを市の方針とされたい。

9. 可聴野田内の防犯無線の整備については、聞こえないところへの対策を早急に進められたい。避難路については、補助制度を拡充するともに、地元意見も取り入れ、市自ら計画を立て整備されたい。
10. 旧児童女性会館を利用してマーチングの練習場としていた団体などが、引き続き

市長が地域回る市政報告会

スタート

11月から月一回、市長が地域に伺い、産業、観光、防災、まちづくり、子育て、福祉、教育など市政に関する情報を積極的に発信することにも市民のみならず市政に対する意見を聞く市政報告会をスタートさせるとのこと。市内42地区を10に分けたブロックは次のとおりです。

を利用できる機能を持った施設を作られたい。

11. コミュニティセンター10館構想について、早急に実施計画を持ち、速攻建設されたい。
12. すべてのコミュニティセンターで期日前投票ができるようにされたい。また、在宅投票の基準を緩和し、投票の権利を行使できるように、国に働きかけられたい。

- 太。②貴志、野崎、湊、楠見。③有功、直川、紀伊、川永、山口。④西和佐、和佐、小倉、四箇郷。⑤三田、岡崎、定原、西山東、東山東。⑥宮、宮前、宮北。⑦雑賀、雑賀崎、田野、和歌浦、名草。⑧吹上、砂山、今福、高松。⑨本町、城北、雄湊、中之島。⑩新南、大新、広瀬、世原。

①松江、木本、西崎、加

①は11月11日に開催